

現実論としての商工中金への質問
(次回以降で結構なので答えて頂きたい)

2017年12月15日

富山和彦

ミドルリスク融資モデルは結構だが、現実の組織能力として・・・

1. 事業再生をなめていないか？
 - ・財務、税務、法務、ビジネス、経営、労務、親族問題の実践スキル
 - ・人間洞察力、深いコミュニケーション力、胆力、度胸
 - ・中堅・中小企業再生人材は多能工（大企業再生のように分業が効かない）
 - ・基礎知識×豊富な「臨床経験」
 - ・ハンズオンで持てるのは一人で数件が限度（ハンズオフが効かないのも中小企業再生の特質）
 - ・今の商工中金に一人前の事業再生プロフェッショナルは何人いるのか？

 2. ミドルリスク融資なんてどれだけできるの？
 - ・現状どれだけのどんなタイプの中ドルリスク融資残があるのか？
 - ・そのセグメント収支は？スプレッドは？信用コストは？
 - ・コア事業にできるほどの事業性（規模、収益性）はあるの？
 - ・ミドルリスク融資を担える人材（少なくとも中小企業の事業性評価ができる人材）は何人いるのか？・・・IGPIの駆け出し若手向け社内テストで評価しましょうか？

 3. ミドルリスク融資の収益でフル商業銀行モデルの固定費支えられるの？
 - ・預金獲得・管理と決済性口座サービスの提供に必要な固定費（システム、支店、要員）は巨大
 - ・フィンテック革命でフル商業銀行モデルのコスト優位性はますます劣化（だからメガバンクはビジネスモデルの大転換を急いでいる）
 - ・そこでフル商業銀行モデルでミドルリスク融資を行うビジネスモデルって、現実問題として持続的に成立するの？
 - ・フィンテック革命を取り込んでローコストなフル商業銀行モデル&ミドルリスク融資モデルを創造するイノベーションを起こせるような人材はいるの？
- ・・・以上の問い全てにリアルな説得力を持って答えられないと、ミドルリスク融資を軸に我が国の中小企業金融の救世主になるなんて話は絵空事に過ぎないことになる

産業再生機構（IRCJ）から現在に至る栃木県案件

企業名
ホテル四季彩
栃木レザー
関東自動車
あさやホテル
金精
田中屋
鬼怒川温泉山水閣
鬼怒川グランドホテル
奥日光小西ホテル
金谷ホテル観光
釜屋旅館
東野交通